

2006 年度

科目名 美術史 A	対象学科・学年 文学部日文 1回生 文学部英米 1回生 文学部文財 1回生 人間人社 1回生	担当者 小林 典子
授業テーマ 絵画鑑賞入門—ルネサンスから現代まで—		
授業の概要と目標 ギリシア以来、西洋美術の長く豊かな歴史の流れのなかでも、とくにルネサンス以降は多くの天才芸術家を生みすばらしい作品の数々を残しました。けれどもわたしたちは、それらの作品に接する時、その魅力には感動するけれども、何かもうひとつよく解らないという不満をもつことがよくあります。それは一体なぜだろう。すぐれた作品にアプローチするために、それぞれの作品に即した解説方法を学ぶことがぜひとも必要です。この授業では、西洋美術の伝統を築いたルネサンスから現代までの代表的な名画をとりあげ、鑑賞に必要な基礎知識と分析の仕方を、スライドやビデオを見ながら学習します。		
評価方法 授業への参加意欲や小レポート 40% 期末レポート 60%		
テキスト 『名画を見る眼』	著者 高階秀爾	出版社 岩波書店
参考書 授業中に適宜指示	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1.開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション 2「絵画を読む」 3. ヤン・ファン・エイクと《アルノルフィニ夫妻の肖像》 4.ヒエロニムス・ボス／<メメント・モーリ> 5.ボッティチェルリ《春》 6.レオナルド・ダ・ヴィンチ《モナ・リザ》 7.ラファエッロ《小椅子の聖母子》 8.イタリア・バロックと天井画 9.ベラスケスとゴヤ 10.フェルメール《画家のアトリエ》 11「絵画の文法を知る」 12 クールベとミレー 13 マネ《オランピア》とスキヤンダル 14,15 まとめ		